



美術館だより

TEL (063) 7788

こども画廊と週刊新潮の表紙絵が、

谷内六郎展

2月9日(木)～4月3日(月)



「タネを吹く子」

心の奥深く大切にしまっておく、懐かし
くて、そして切ない情景。谷内六郎画伯は、
日本人のだれもが持つ、のどかで温もり
溢れた世界を独特の画風で描きました。

谷内画伯は、まだ田園風景の広がって
いた東京・世田谷で幼少期を過ごしました。
尋常高等小学校を卒業後は、工場で働きな
がら漫画やカットを新聞や雑誌に投稿して
たびたび入選を果たし、才能を開花させて
いきます。そして、昭和30年33歳のとき『漫
画読本』に発表した「行ってしまった子」
で第1回文藝春秋漫画賞を受賞し、画壇に
鮮烈なデビューをしました。

翌年『週刊新潮』が創刊されると、創刊
号から表紙絵を担当し、以後25年間にわた
り描き続けました。すがすがしく、やさし
く、温かい画家の心は、野に咲く草花の香
り、空や海のまぶしい光、陽だまりのやわ
らかな温もり、祭や盆踊りの懐かしい音、
そんな安らいだ日本の四季を、そのまま見
る人の心に伝えてくれました。

休館日 毎週水曜日(7日火)は展示替えのため臨時休館
開館時間 9時～16時30分(入館は16時まで)
町民の方は受付で町民証の提示をお願いします。
毎月第3日曜日の家庭の日は、町民の方は入館無料です。

入館料

円		一般	割引券	町民
小中学生	大人			
300	600			
200	500			
200	400			

こどもギャラリー

小・中学生のみなさんが、
学校活動の中で描いた作
品の中の100点を美術館
内に展示いたします。

日程 1/27～2/9 吉浜小学校
2/10～2/23 湯河原小学校
2/24～3/9 湯河原中学校
(東台福浦小学校の展示は
1/26で終了しました。)

～美術の話を
聞きに来ませんか～
ギャラリートーク

【日 時】2月14日(火)14:00
2月19日(日)10:00

【場 所】湯河原ゆかりの美術館
展示室

【テーマ】「谷内六郎展」作品解説

【講 師】当館学芸員

【参加料】入館料のみ

近年、谷内画伯の遺族から、生前の画伯
がアトリエを構え、こよなく愛していた横
須賀市に作品が寄贈されました。このたび、
横須賀美術館開設準備室のご好意により、
四半世紀にわたり谷内画伯が描き続けた『週
刊新潮』の表紙絵から52点を選び、郷愁と
やすらぎに満
ち溢れた『幼
い日の風景』
の展覧会をお
届けします。



「あっちの町に冬が来た」

一喜一憂

「春もやや けしきこのふ 月と梅」。
芭蕉

寒波に見舞われ開花が遅れる中、梅の宴
が始まりました。

今月二十日、全国梅サミットが開催され、
梅林を持つ各市町村からの代表が、湯河原梅
林に集結します。

あつという間に、正月が過ぎました。今
年の年賀状は、成年らしく、愛犬と家族に
囲まれた和やかな写真が多く目に映ったの
ではないでしょうか。

幼児殺害や耐震強度偽装事件、そして、
無事戻りましたが、年明け早々の新生児連
れ去り事件など、今年の干支「犬」にも劣
る犯罪がありました。忠犬八子公に代表さ
れる、人間が持つべき忠実さを身につけた
身近な友、愛犬を見習わなければならない
と思っています。

私たち日本は今、政治、経済から世相ま
で苦しみの中にあります。

米国型競争社会志向が悪いのか。貧富の
差は激しく、すべてに不透明な社会になっ
てしまいました。だましあいや利益優先の「不
安な時代」が、私たち生活を脅かしています。
行政にとりましても、かつての「小さな負
担で大きなサービス」が、国も地方も、あ
らゆる分野で、「大きな負担で小さなサー
ビス」に変化しています。

町財政を豊かにし、町民負担をどこまで
軽減するか。そのためには町内産業が活性
化する、思い切った町を誕生させなければ
なりません。

平成二十二年度を目標年次とした新総合
計画の基本目標の一つに、「町全体の魅力
を高め、産業の活性化を図る」があります。
今年、町の将来をかけ、新しい町づくり
に挑戦します。

その第一歩となる、一昨年イタリアに開校
した食の大学、民間との協働によります日本
初となるスローフード大学の設立に向け、国
へ構造改革特別区域の認可申請をします。
観光客が減少し、休廃業した宿泊施設を校
舎に活用、耕作地の放任圃化や後継者不足に
悩む農漁業からの新鮮な食材の調達、多くの
学生が集まり、学校周辺の商圏の活性化、職
員の現地採用による雇用促進、団塊の世代の
入学に伴う新規住宅の開発等、各業種の経営
向上から二十一世紀観光地を担う先駆者の育
成まで、文化学園都市としての幅広い目標を
掲げ、取り組んでまいります。

また、日本を代表するアーティスト、ユ
ミンこと松井谷由美さんやサンオールスター
ズのコンサート誘致に向けて準備に入ります。
どんな事業にも、善と悪の両面があります。
悪い面だけでなく、善い面を見つめていた
き、多くの皆様の協力をお願いしたいと願っ
ています。

今年のキャッチフレーズは、「元気で
湯河原」。

私たちの町、湯河原は、元気いっぱい
の町民が住む、「閑静で、躍動感あふれる町」
が似合います。

町民の皆様が、「元気とは何だろう。人
生とは何だろう。そして、自分には何ができる
だろう」を共通のテーマに、結果を恐れず、
まず、計画を行動に移して、元気な町づく
りに参加していただきたいと思えます。

「私たちは、誰かのために生まれてきたの
ではありません。それなのに、どうして他人
の評価で自分の価値を計ろうとする習慣から
抜け出せないのだろうか」と、自らに問い掛け
今年こそ自分で自分を評価する年にしたいと、
自分自身に期待しています。

町長
米岡幸男

